

第10回 農業後継者りんご整枝剪定講習兼競技会（筆記試験）

団体名		番号		氏名	
-----	--	----	--	----	--

問1、次の文章の（ ）に正しい用語を下から選びなさい。 20点（各2点）

- ①枝は高い位置や（ 先端 ）から出たものほど生育が（ 旺盛 ）である。
- ②果実の（ 肥大 ）や着色を促したり、翌年に向けて充実した花芽を形成するためには、（ 日光 ）と養水分が必要である。
- ③りんごの（ 花芽 ）形成は、主に7月上旬頃から8月下旬頃にかけて行われる。
- ④花芽が分化する順序は、（ 短果枝 ）、中果枝、（ 長果枝 ）の順である。
- ⑤一般に弱小芽とは花芽の横径が（ 3<sup>ミリ</sup> ）以下のものをいう。
- ⑥若木や樹勢の強い樹には（ 間引き ）剪定、樹勢の弱い樹には（ 切り返し ）剪定が基本である。

切り返し	短い	先端	低温	基部	短幹	養水分	長幹	長い	日光	穏やか	肥大	間引き
花芽	時間	3 <sup>ミリ</sup>	5 <sup>ミリ</sup>	1 <sup>センチ</sup>	旺盛	高温	種子	短果枝	長果枝	徒長枝	果台枝	下垂枝

問2、次の文章の（ ）に正しい数字を下から選びなさい。 18点（各3点）

開花前後から伸び始めた新梢は大方のものは（ 6 ）月末から（ 7 ）月にかけて生長が止まるが、樹勢の強弱によってその時期はかなり異なる。一般に花芽分化の始まる（ 10 ）日ないし2週間前に伸長の停止することが理想なので、6月末までには（ 80 ）%程度の新梢の生長が止まっているようであれば良い。この時期でもまだ、（ 50 ）%程度しか止まっていない樹は樹勢が強すぎるし、反対に（ 100 ）%止まっているようであれば樹勢衰弱の懸念がある。

2	4	5	6	7	8	10	50	80	100
---	---	---	---	---	---	----	----	----	-----

問3、以下の問いに答えよ。 12点（各2点）

- ①頂芽の先が破れ青みが現れたものを、1樹で3芽以上認められた時期を何というか。  
 答え 発芽期
- ②1樹で8~9割の芽が割れた時期を何というか。  
 答え 芽出し当時
- ③1樹の中で完全に開いた葉が1枚でも見られた時期を何というか。  
 答え 展葉期
- ④1~2花開花したときを何というか。  
 答え 開花日
- ⑤頂花芽の70~80%開花したときを何というか。  
 答え 満開日
- ⑥頂花芽の70~80%落花したときを何というか。  
 答え 落花日

問4、以下の人は何を行った人物か下の□の語句から選び説明しなさい。 24点（各8点）

①



外崎嘉七(1859~1924)

答え 「ボルドー液や袋かけ」の普及、剪定による「樹形改造」も行い「りんごの神様」と呼ばれている人物

②



澁川傳次郎(1898~1991)

答え 「第二次大戦後」、「青森県りんご協会」を設立し青森りんごの「戦後復興の祖」といわれる人物

③



斎藤昌美(1918~1991)

答え 「東北7号(ふじ)」の栽培研究や「穂木無償供給」するなど、ふじの普及に尽力した人物

第二次大戦後	ボルドー液や袋かけ	モニリア病の解明	青森県りんご協会	青森県りんご試験場
穂木無償供給	金星	東北7号(⇒ふじ)	樹形改造	品種改良
りんごの開祖	りんご栽培の最初の苗木配布者及び試植者	わい化栽培の有利性	戦後復興の祖	りんごの神様

問5、（ ）の中に下の□から適切なものを選びなさい。 26点（各2点）

【掛け合わせ】

- ①ふじの掛け合わせは「国光」×「デリシャス」ですが、どちらが母方(花)ですか？（ 国光 ）
- ②王林…「ゴールデンデリシャス」×（ 印度 ）
- ③つがる…「ゴールデンデリシャス」×（ 紅玉 ）
- ④きおう…（ 王林 ）×「はつあき」
- ⑤トキ…「王林」×（ ふじ ）
- ⑥シナノスイート…「ふじ」×（ つがる ）
- ⑦シナノゴールド…「ゴールデンデリシャス」×（ 千秋 ）
- ⑧金星…（ ゴールデンデリシャス ）×「国光」

ふじ	王林	つがる	紅玉	千秋	印度	ゴールデンデリシャス	国光	デリシャス
----	----	-----	----	----	----	------------	----	-------

【県別生産量】

- 第1位（ 青森県 ）第2位（ 長野県 ）第3位（ 山形県 ）第4位（ 岩手県 ）
- 第5位（ 福島県 ）

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	長野県	群馬県	山梨県
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----